

【秋田市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

G I G Aスクール構想第1期で整備した学習系ネットワークに関しては、運用開始後、複数学級の児童生徒が一斉に端末の起動やインターネットへアクセスすると、回線速度が低下する現象が確認されたため、各校にローカルブレイクアウト回線を導入し、トラフィックの改善を行いました。

しかしながら、令和6年7月に秋田市立小・中学校において、簡易測定(スループット調査)を実施したところ、別紙「学校規模に応じた当面の帯域の目安（当面の推奨帯域）」（文部科学省・令和6年4月）を超える学校数は59校中10校あり、総学校数に占める割合は16.9%となっていました。

このように、国が示す推奨帯域を達成していない学校があることから、さらなる改善が必要であると捉えています。

※ 必要なネットワーク速度が確保できている学校は、全て児童生徒数が90人以下の学校でした。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

上記簡易測定の結果を踏まえ、令和7年度中にネットワークアセスメントを2校実施し、課題のある学校について、推奨帯域を達成できない原因を特定します。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワークアセスメント結果を踏まえ、令和7年10月から順次改善策の検討を開始し、ネットワーク構成・通信回線の見直し行うなど、令和8年3月までに改善策を完了させる。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

十分な通信契約でないことが最大の要因として挙げられることから、令和8年3月までに10Gbps回線への変更、もしくは、10Gbps回線がエリア外の学校は1Gbps回線を複数回線へ変更する。